

# 海岸植物ミニ図鑑



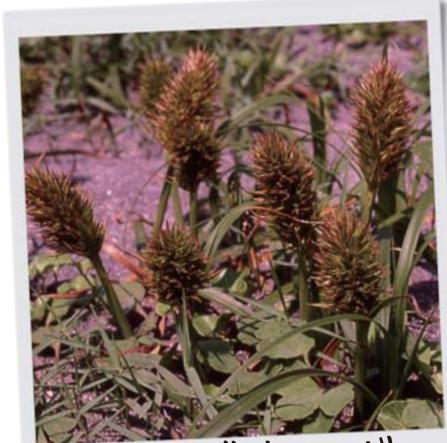
ハマニンニク

ハマニンニク（イネ科）しばしば群生するイネ科の植物。葉は細長く、なめらかで、白緑色。葉をちぎると、青臭いにおい。  
(テンキグサ)



ハマニガナ

ハマニガナ（キク科）地中の茎から地上に現れるのは葉と黄色の花のみ。ちぎると白い乳液。非常に苦い。



コウボウムギ

コウボウムギ（カヤツリグサ科）大きな穂が特徴。葉にはつやがあるが、葉の先端付近は非常にざらつく。



ケカモノハシ

ケカモノハシ（イネ科）葉には毛が密生していて触ると柔らかな感触がある。穂は、円筒形だが、手で2つに割ることができる。



ハマヒルガオ

ハマヒルガオ（ヒルガオ科）丸い葉にはつやがあり、切ると白い乳液。茎のほとんどは地中をはう。初夏に花がいっせいに咲く。



オニシバ

オニシバ（イネ科）葉の先が鋭くとがり、まばらに群生する。穂の下半分は、隠れたまま。



コウボウシバ

コウボウシバ（カヤツリグサ科）コウボウムギと似ているが、葉は細い。穂の形は、全く異なる。



シロヨモギ

シロヨモギ（キク科）ヨモギに似るが、白い毛を密生するので、葉は真っ白で厚みがある。



ハマエンドウ

ハマエンドウ（マメ科）砂浜では、どちらかというと陸側に生える。葉も花もエンドウに似る。



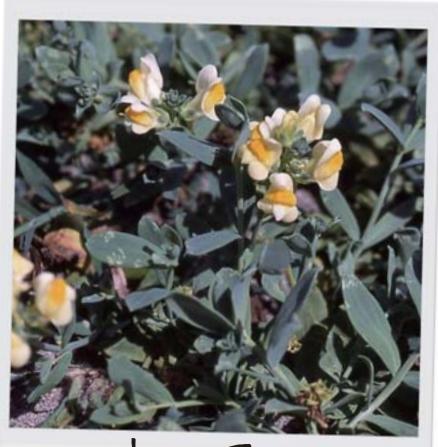
ハマボウフウ

**ハマボウフウ (セリ科)** 葉は複雑に切れ込んでいて、厚くてつやがある。開花後の実は、プロッコリーのような塊になる。



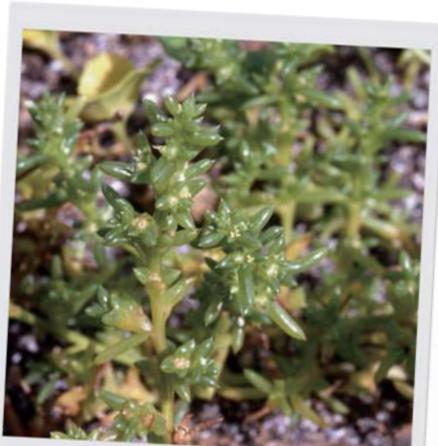
ハイネズ

**ハイネズ (ヒノキ科)** 密生する背の低い針葉樹。幹は立ち上がりずに砂の上をはって広がる。葉は針のようにつがる。



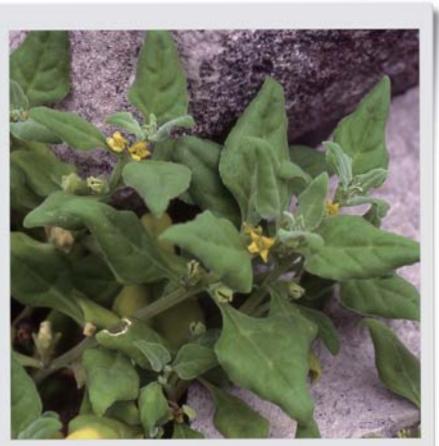
ウンラン

**ウンラン (ゴマノハグサ科)** 花は白と黄色の変わった形。茎は直立するが背は低い。



オカヒジキ

**オカヒジキ (アカザ科)** 葉は棒状の肉質、先端は刺状だが、若いころは痛くない。茎も緑色で、よく分枝する。



ツルナ

**ツルナ (ハマミズナ科)** 葉も茎も粉を帯びたような緑色。ゴミが堆積しているようなところに多い。



ネコノシタ

**ネコノシタ (キク科)** 厚くて、ざらつく葉が、猫の舌を連想させる。砂の上をはう茎にも葉がまばらにつく。(ハマグルマ)



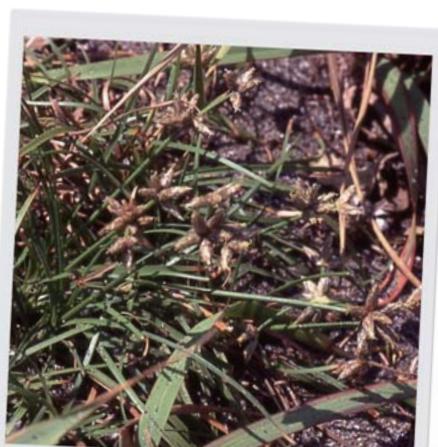
ハマゴウ

**ハマゴウ (クマツヅラ科)** 背の低い落葉広葉樹。幹は、砂の上をはい、枝だけ立ち上がる。夏に紫色の花が咲く。葉をちぎると独特的の香り。



サンビキソウ

**サンビキソウ (ムラサキ科)** 全体的に細かい軟毛がある。中心が黄色の白い花が咲く。アサギマダラが訪れるので有名。



ビロードテンツキ

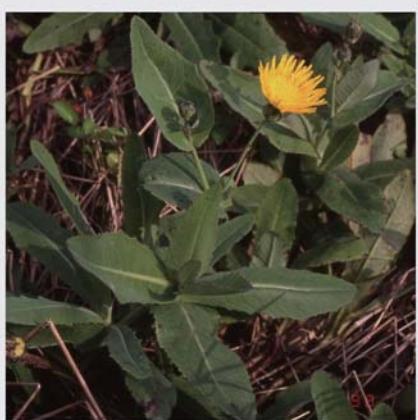
**ビロードテンツキ (カヤツリグサ科)** 小さなカヤツリグサの仲間。名のおり葉には、短毛が密生する。

# 海岸植物ミニ図鑑



ハマダイコン

ハマダイコン（アブラナ科）野菜の大根に良く似ているが、根はさほど太らない。海岸沿いの集落の近くに生えていることが多い。



ハチジョウナ

ハチジョウナ（キク科）全体的に白緑色だが、特に葉の裏が白い。茎は直立し、高さは数十cm。タンポポの花に似た黄色い花が咲く。



コマツヨイグサ

コマツヨイグサ（アカバナ科）小型のマツヨイグサ。花は、夕方から朝にかけて咲く。茎は多数分岐し、まっすぐ立ちあがることは無い。



オオハマガヤ

オオハマガヤ（イネ科）ハマニンニクに似る。細長い葉の基部が、局所的に赤みを帯びるのが特徴。



↑基部が赤くなる



上がオオハマガヤの穂  
下がハマニンニクの穂



オオフタバムグラ

オオフタバムグラ（アカネ科）細長い葉は対生し、白色から淡紅色の小さな花が咲く。しばしば群生する。



若い個体



オニハマダイコン

オニハマダイコン（アブラナ科）全体無毛で、葉は厚い。こけしに似た、先がまるくて細長い実がなる。



アツバキミガヨラン

アツバキヨミガラン（リュウゼツラン科）葉は、非常にかたくて厚く、先は鋭くとがる。大型の植物で遠くからでも目につく。白い花が鈴なりに咲く。



ハマハコベ

ハマハコベ（ナデシコ科）厚みのある葉は、十文字にきれいに整列することが多い。5弁の白い小さな花が咲く。



ハマハタザオ

ハマハタザオ（アブラナ科）葉は厚く、茎の先端に多数の白い花が咲く。茎や葉には荒い毛がある。花のあとには、細長い実となる。



ハマナス

ハマナス（バラ科）刺の多い低木。しばしば群生する。大きな一重の花が咲く。実も大きい。



ハマベンケイソウ

ハマベンケイソウ（ムラサキ科）全体的に白緑色。茎は横に伸びて広がる。葉は卵形で多肉質。花は瑠璃色で、小さな釣鐘状。



マルバアカザ

マルバアカザ（アカザ科）アカザやシロザに似るが、多肉質の丸い葉が特徴。茎は立ち上がりなめらか。



カワラヨモギ

カワラヨモギ（キク科）初期の葉は、細かく分かれで白毛が密生する。花をつける茎の葉には毛がなく、糸状で緑色。



チガヤ

チガヤ（イネ科）内陸の湿潤地にも生え、比較的密に群生する。初夏に綿毛の多い穂をつける。葉のふちや、茎がやや赤みを帯びる。



ナミキソウ

ナミキソウ（シソ科）波来草というわりには、浜の内陸側や松林に生える。葉は十字対生。青紫色の花は、ペアで咲くことが多い。



エゾオグルマ

エゾオグルマ（キク科）葉は、大型で上面につやがある。ヒマワリの花を小さくしたような、黄色の花が複数咲く。